

👑 第7回 SAILFAST CUP

帆走指示書

主催 SAILFAST

開催地 蒲郡 豊田自動織機海陽ヨットハーバー

開催日程 2025年2月8-9日

1. 規則

1.1 本大会は、「セーリング競技規則2025-2028」(以下 RRS)に定義された規則を適用する。

2. 選手とのコミュニケーション

2.1 競技者への通告は、大会 web サイトの公式掲示板(<https://www.racingrulesofsailing.org/documents/10721/event>)に掲示される。公式掲示板への更新について、LINE オープンチャットにて通知される。LINE オープンチャットの通知不備については、艇からの救済の根拠とはならない。これは RRS61.1(a)を変更している。

2.2 LINEオープンチャットにてD旗が掲示された場合は、「予告信号は、D旗の掲示後30分以降に発せられる」ことを意味する。艇はこの信号が発せられるまで、ハーバーを離れてはならない。

公式掲示板QR



LINEオープンチャットQR



3. 日程

3.1 2025年2月8日(土) 9:00 ブリーフィング

10:25 その日の最初の予告信号

2025年2月9日(日) 9:25 その日の最初の予告信号

16:00 閉会式予定

3.2 今大会のレガッタのレース数は最大8レースとする。

3.3 最終日は14:00以降のスタートは行わない。

4. クラス旗

4.1 Aクラス 国際オプティミスト旗(白地に青のOPマーク)

5. レースエリア

5.1 蒲郡沖とする。

6. コース

6.1 添付図 A に記載された通りとする。

7. マーク

7.1 マーク1：円筒形マーク（黄色）

マーク2：円筒形マーク（黄色）

マーク3S, 3P：シリンダー型マーク(黄色)

8. スタート

8.1 スタートラインは、スタートシグナルボートの緑旗を掲揚しているポールとアウトバーボートの緑旗を掲揚しているポールの間とする。

8.2 スタート信号後4分より後にスタートする艇は、「スタートしなかった(DNS)」と記録される。この項は、規則 A4 を変更している。

9. コースの変更

9.1 スタート後に風向や風速に大きな変化があった場合、RRS33に従ってフィニッシュラインを動かす場合がある。

10. フィニッシュ

10.1 フィニッシュラインは、青色旗を掲揚した運営艇と黄色シリンダーマークの間とする。

11. レースの中止

11.1 N旗を掲揚しレースを中止する事がある。

12. 抗議と救済

- 12.1 抗議締切時刻は、その日の最終レースに最終艇がフィニッシュした後、またはレース委員会が、本日はこれ以上レースを行わないと信号を発した後、どちらか遅い方から 60 分とし、その時刻を大会 web サイト（公式掲示板）に掲示される。
- 12.2 審問要求は、大会 web サイト（公式掲示板）「審問要求」で入力できる。抗議および救済または審問再開の要求は、適切な締切時間内にオンラインで提出されなければならない。
- 12.3 当事者であるか、または証人として名前があげられている審問に関わっている競技者に通告するために、抗議締切時刻から 30 分以内に通告を大会 web サイト（公式掲示板）に掲示される。審問は大会本部(ヨットハーバークラブハウス内 C-1会議室)にあるプロテスト・ルームにて掲示された時刻に始められる。
- 12.4 付則 P に基づき RRS42 違反に対するペナルティを課された艇のリストは大会 web サイト（公式掲示板）に掲示される。
- 12.5 RRS61.2(b)(2)を以下のとおりに変更する。
レースが予定される最終日において、プロテスト委員会の判決に基づく救済要求は、判決の掲示から 15 分以内に提出しなければならない。
- 12.6 RRS付則Pに基づきRRS42違反に対するペナルティを課せられた艇のリストは、オープンチャットに掲示される。
- 12.7 RRS61.2(b)(2)を以下のとおりに変更する。
レースが予定される最終日におけるプロテスト委員会の判決に基づくものである場合には、判決の掲示から 15 分以内に。

13. タイム・リミットとターゲットタイム

- 13.1 タイム・リミットとターゲットタイムは、次の通りとする。

・マーク1のタイム・リミット 30分

・ターゲットタイム 45分

マーク1のタイム・リミット内に1艇もマーク1を通過しなかった場合には、レースを中止する。

- 13.2 最初の艇がコースを帆走してフィニッシュした後 15 分以内にフィニッシュしない艇は、「フィニッシュしなかった(DNF)」と記録される。この項は、規則 35、A4 および A5 を変更している。

14. 賞

- 14.1 レガッタにおいて以下の順位の選手に賞品を与える。

Aクラス：1位～6位

15. 得点

- 15.1 本大会が成立するには、2レースを成立させることを必要とする。
- 15.2 レガッタにおいて4レースが成立した場合にはもっとも悪い点数を除外する。

16. 安全規定

- 16.1 出艇申告、帰着申告はトラッキング端末を搭載した船が一定のラインを超えた時点で確認する。
- 16.2 競技者は海上において、一時的な脱着/調整の間を除き、有効なライフジャケットを着用しなければならない。これは、RRS40を変更するものである。
- 16.3 リタイヤしようとする艇は出来るだけ速やかに運営艇にその旨を申告し、レース海面を離れなければならない。
- 16.4 救助を必要とする選手は、笛を吹くかパドルまたは片腕を振って知らせなければならない。レース委員会は、救助を要すると判断した場合には、救助を必要とする選手の意向にかかわらず、救助することができる。これは救済要求の根拠にはならない。
- 16.5 支援艇に対する救助活動の要請は、本部船に音響1声と共に数字旗1の掲揚と共にオープンチャットに通告する。この要請があった場合、危険な状態にある艇を可能な限り速やかに救助しなければならない。この旗はレース中であっても掲揚されることがある。これはRRS37 を変更している。

17. 装備の交換

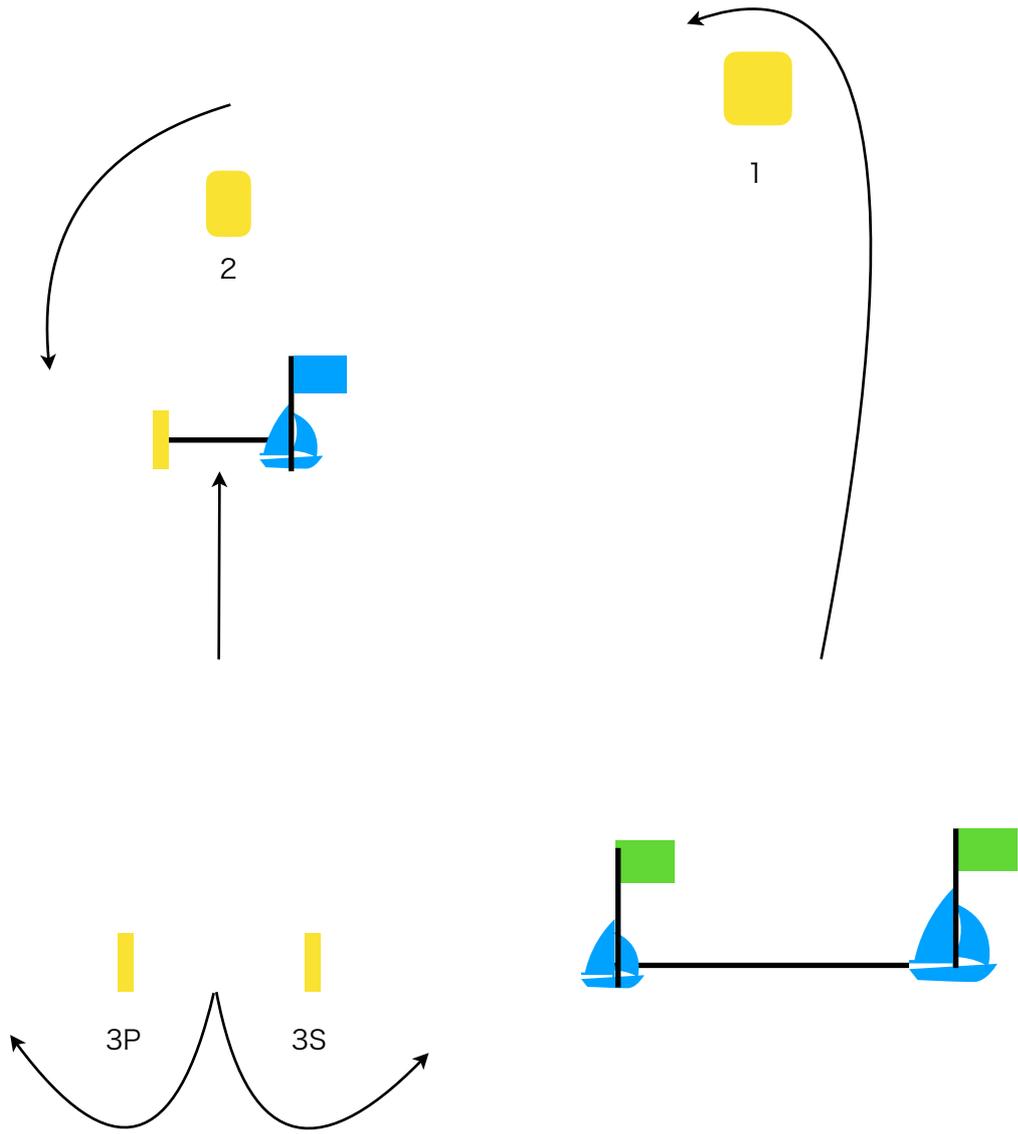
- 17.1 装備の交換は自由とする。

18. 責任の否認

- 18.1 競技者は自分自身の責任でレースに参加する。
- 18.2 主催団体は本大会の前後、期間中に生じた物理的な損害又は身体障害もしくは死亡のいかなる責任も負わない。

19. その他

- 19.1 本大会（レース公示、帆走指示書、その他レース）に関する事項について、疑義が生じた場合はレース委員会が裁量する。レース公示との間に矛盾が生じた場合は帆走指示書を優先する。
- 19.2 本大会の競技者の肖像権は主催団体に帰属する。
- 19.3 大会期間中の映像、写真及び成績は、主催団体のHPなどに掲載される場合がある。
- 19.4 本大会は、毎レース暫定1位～3位の選手はライフジャケットの上にビブスの着用しなければならない。その日のレース終了後に着用している選手は大会本部に返却しなければならない。
- 19.5 トラッキングシステム（TracTrac）を採用する。出艇申告、帰着申告はトラッキング端末を搭載した船が一定のラインを超えた時点で確認する。トラッキング端末の受け取りと返却をする際は所属クラブの代表者が一括して行うのが望ましい。端末の受け取り返却場所は、ヨットハーバークラブハウス内 C-1会議室とする。



添付図A
S-1-2-3s,3p-F